

府中市インフラマネジメント計画の評価等について
(報告書)

令和4年3月

府中市インフラマネジメント計画の評価等について (報告書)

1 主旨

「府中市インフラマネジメント計画の評価等について(報告書)」(以下、本報告書という。)は、平成30年7月に策定した府中市インフラマネジメント計画(2018年度)(以下、本計画という。)の短期計画期間が終了するにあたり、本計画の進捗状況や発現した効果について、府中市インフラマネジメント計画評価等委員会(以下、「本委員会」という。)で確認し、取りまとめたものである。

2 総評

市は平成23年度からインフラマネジメントに取り組み、旧インフラマネジメント計画を平成30年度に改定し、橋りょうや道路舗装の長寿命化修繕計画、府中駅ペDESTリアンデッキ維持管理計画、緑の基本計画2020、公園施設長寿命化計画、下水道マスタープラン2020を策定するなど、インフラ管理における具体的な経費見通しを確認したうえで、PDCAサイクルにより進捗状況を確認する取組を継続している。

本委員会では、本計画の平成30年度から令和3年度までの短期計画期間における28施策の実施状況と経費削減効果を検証した結果、特に道路占用料の適正化、大径木の間引き、道路等包括管理事業等が効果を上げていると評価できる。

本委員会は、現状の施策を推進することに加え、次に挙げる事項を中心に中期計画期間に取り組むことを推奨する。

- (1) 橋りょう等の大型構造物及び道路附属物の安全点検や補修更新の取組
- (2) 府中市総合計画等にあわせた本計画の見直し
- (3) バランスに配慮するとともに、インフラの特性に応じた府中市公共施設等総合管理計画の運用
- (4) インフラ管理に対する市民の理解を得るとともに、市民自身でできる取組を推進するための取組

中期計画期間以降に経費削減効果を期待できる橋りょうや道路舗装の長寿命化修繕計画、公園施設長寿命化計画や公園管理の在り方方針等に基づく補修、修繕、更新等が確実に実施されることを強く期待する。

3 短期計画について

短期計画期間で施策を実施したことにより得られる歳入の確保額と歳出の削減額を合わせると、年間約33,491千円/年の経費削減効果があるとの結果となっている。

また、金額が極めて大きく、かつ、将来に渡り効果が期待できる橋りょうの予防保全施策の補修更新費を除くと、177,325千円/年の効果がある。これは、本計画で予測した104,871千円/年の169%に相当し、大幅に進捗していると捉えることができる。

短期計画期間の職員人件費は、計画に対して短期計画期間の平均で約4,125千

円／年（約0.8%）増加している。

一方、短期計画期間の主な施策では、中期計画期間に予定していたサービス料金の適正化を先行して実施しているほか、道路占用料の適正化による新たな歳入の確保、官民連携事業である街路灯や公園灯のESCO事業による電気使用料や環境負荷低減への貢献、道路等包括管理事業を市全域に拡大したことによる経費削減と市民サービス向上の両立、街路樹や公園樹木の大径木の間引きによる将来的な剪定費用の削減の各施策が、インフラ管理の効率化に貢献していると認められる。

なお、橋りょうや道路舗装の長寿命化修繕計画、公園施設長寿命化計画による予防保全や道路等包括管理事業の見直し等の官民連携施策による効果は、令和4年度からの中長期計画期間以降に経費削減効果が得られることが見込まれている。

今後は、道路、公園、下水道各施設の安全点検や管理記録の蓄積に最新のデジタル技術を導入することなどにより維持管理を効率的に行うことで、各施策・取組による経費削減を継続して推進することが望まれる。

4 中期計画の実施に向けて

中期計画期間では、短期計画期間における施策・取組の実績を踏まえ、本計画によるインフラ管理の経費削減効果をより実践的に向上するためには、市の財政事情や施策・取組が進捗したことによる状況の変化に合わせ、管理リスクや施策内容を見直すことが重要であるため、確実に実施されることを強く期待する。

(1) 橋りょう等の大型構造物及び道路附属物の安全点検や補修更新の取組

橋りょうやアンダーパス擁壁等の大型構造物及び道路附属施設については、施設の老朽化に加え近年のゲリラ豪雨等の頻発を考慮すると、不測の劣化や倒壊を招かないよう劣化状況を継続的にかつ効率的に把握し、定期的な安全点検や管理記録の蓄積等を行い、予防保全に活用すべきである。

(2) 府中市総合計画等にあわせた本計画の見直し

本委員会による本報告書の評価結果を踏まえ、令和4年度から運用する第7次総合計画に沿って現在の施策の見直しや必要に応じた新たな取組の追加を行い、より実効性があるインフラマネジメント計画とするべきである。

(3) バランスに配慮するとともに、インフラの特性に応じた府中市公共施設等総合管理計画の運用

公共建築物とインフラの総合的なマネジメントを推進するため、双方が連携してバランスに配慮した財政運営が必要である。そのため、人口減少や少子高齢化による財政の圧迫を考慮しつつ市全体としてインフラ管理の重要性を認識し、PDCAサイクルにおいて施策・取組の実績や効果を確認する必要がある。また、量を大きく削減すると市民の生命や財産の安全に直結してしまうインフラの特性に対応して、必要なインフラ予算を確保できるように大胆に予算配分を見直すべきである。

(4) インフラ管理に対する市民の理解を得るとともに、市民自身でできる取り組みを推進するための取組

現在のインフラ管理水準を維持できなくなると、道路の陥没や橋梁の落下、下水道管の破損等により日常生活を続けることができなくなる危険性がある。市民は、インフラ管理をすることは絶対に必要であることを理解するとともに、市民自身でできる取り組みを主体的に進めるべきである。

市は、市民の理解を得られるよう、広報誌を活用するなどにより一層積極的に働きかけ、インフラを大切に利用してもらうことや市のインフラ管理をサポートする意識を持ってもらえるような市民協働の施策をさらに講じるべきである。

5 新たな視点について

近年のSDGs（Sustainable Development Goals：2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能な国際開発目標）やESG〔環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）に配慮した企業活動〕等の社会的価値観の変化に沿った活動を市や関連する委託事業者等の企業が取り組むことを検討するなど、さらに全国の自治体のモデルケースとなるよう次期府中市インフラマネジメント計画ではこれまで以上に効果のある施策・取組の策定を大いに期待する。

参考資料

次のページ以降に、府中市インフラマネジメント計画評価等委員会の資料として示された、「短期計画期間での施策ごとの効果額内訳(案)」を参考資料として掲載する。

(「実績」欄の説明)

| 記載 | 説明 |
|------|-----------------------------|
| 継続中 | 施策を実施し継続している施策。 |
| 検討済み | 施策実施の可否を検討したが、実施には至っていない施策。 |
| 検討中 | 施策実施の可否の検討を継続している施策。 |
| 導入予定 | 中期計画期間に導入するため準備をしている施策。 |

表 短期計画期間での施策の効果額内訳

| 分類 | 方針 | 施策 | 実施状況 | 短期計画期間の効果額(千円/年) (計画時/実績折込) | 実績 |
|----------|-------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------|
| インフラ管理全体 | 歳入の確保 | ① サービス料金の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初10円/枚を250円/枚に改定(A3版250円、A2版500円) ・平成30年度～令和3年度までの枚数の平均(A3 3,798枚、A2 141枚) | 0/1,143 | 継続中 |
| | | ② 下水道使用料の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・下水道使用料の適正化の検証を行い改定なし | — | 継続中 |
| | | ③ 新たな歳入手法の導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア制度の拡充 ・ネーミングライツの事例の調査方法を検討 | — | 検討中 |
| | | ④ 道路占用料の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度条例改定 ・平成30年度より適用 ・条例改定前(平成27年度326,001,536円)からの増額 | 36,364/37,274 | 継続中 |
| | | ⑤ 公園の占用料及び使用料の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入なし | — | 検討済み |
| | | ⑥ 法定外公共物の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・土地交換実績：平成30年度：1件 ・令和元年度：1件(市道2-40号廃止 L=18m、W=1.82m) ・経費削減効果：除草10千円/年相当を削減 | 1,151/56,874 | 継続中 |
| | | ⑦ 公園緑地等の利活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討中 | — | 検討中 |

| 分類 | 方針 | 施策 | 実施状況 | 短期計画期間の効果額（千円／年） （計画時/実績折込） | 実績 |
|------|--------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------|
| | 制 総量の抑 | ⑧インフラの新設等をする場合の要否の判断制度 | ・ 検討取組みを検証した | — | 検討中 |
| | 知 市民への周活動 | ⑨市民への周知活動 | ・ シンポジウム：平成 30 年度開催 ・ 出前講座制度創設済み：開催実績なし ・ インフラ検定：導入なし | — | 継続中 |
| 維持管理 | 化の推進管理情報の電子化による効率化 維持管理業務の効率化 官民連携手法 | ⑩道路等包括管理事業 | ・ 「府中市道路等包括管理事業運用方針」（令和 2 年度）において 2.6%の経費削減効果を確認 ・ 令和 3 年度より市全域で導入済み | 11,697/25,455 | 継続中 |
| | | ⑪インフラマネジメントシステムの活用 | ・ 平成 30 年度より導入済み ・ 人件費の 4.7%の効果に対し、導入・保守コストを差引き | -67,534/20,161 | 継続中 |
| | | ⑫公園緑地等の管理における官民連携の推進 | ・ 試行実施に向け、条例改正を実施（令和 3 年度） | — | 導入予定 |
| | 市民との協働による管理 | ⑬不具合の通報制度 | ・ 他市事例を調査中 | — | 検討中 |
| | | ⑭インフラ管理ボランティア制度（府中まちなかきらら） | ・ 花壇管理を制度に追加（令和 2 年度） ・ 運営経費実績に対し、道路清掃及び公園清掃の一部経費の削減（道路-20%程度、公園花壇-2%程度）と想定 | -703/5,595 | 継続中 |
| 補修更新 | ライフサイクルコストの効率化 集約化及び合同化 | ⑮車道 | ・ 事後保全の場合の経費試算 インフラマネジメント白書 ・ (2017 年)P242, 6.30 億円/年 ・ 実績は、白書見込みより約 0.23 億円/年多い歳出額で推移 ・ 舗装長寿命化修繕計画策定済み | -45,073/-45,073 | 継続中 |
| | | ⑯歩道・植樹ます | ・ 道路舗装長寿命化修繕計画、街路樹の管理方針に基づき実施 ・ 補修・更新工事で実施 | — | 継続中 |

| 分類 | 方針 | 施策 | 実施状況 | 短期計画期間の効果額（千円／年） （計画時/実績折込） | 実績 |
|------|-------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|
| | | ⑰街路樹 | <ul style="list-style-type: none"> 大径木の間引き：平成 30 年度：132 本、令和元年度：86 本、令和 2 年度：96 本、令和 3 年度：96 本 1 本あたりの経費削減効果額（見込み）75,108 円／本 大径木の間引き以外は包括事業で実施済み | -3,896／-21,621 | 継続中 |
| | | ⑱標識 | <ul style="list-style-type: none"> 補修実績：ローマ字表示板新設 平成 30 年度：15 枚、令和元年度：16 枚、令和 2 年度：18 枚 包括事業で実施済み | — | 継続中 |
| | | ⑲街路灯 | <ul style="list-style-type: none"> ESCO 事業を導入済み 電気料金（街路灯分）の約 20% 相当額と維持管理経費削減効果の合計 約 14,722 千円／年（令和元年度時点） | 71,986／14,722 | 継続中 |
| | | ⑳道路反射鏡 | <ul style="list-style-type: none"> 清掃実績 平成 30 年度：287 本、令和元年度：236 本、令和 2 年度：85 本 修理実績 平成 30 年度：71 本、令和元年度：96 本、令和 2 年度：218 本 工事实績 平成 30 年度：7 本、令和元年度：8 本、令和 2 年度：7 本 包括事業で実施済み | — | 継続中 |
| 補修更新 | ライフサイクルコストの効率化、集約化及び合同化 | ㉑橋りょう | <ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画を策定済み 平成 30 年度～令和 9 年度の 10 年間の試算：従来型管理 1.0 億円、計画型管理 8.5 億円 短期計画期間の進捗率：57.42%（計画では 40%を予定） 橋梁長寿命化修繕計画では予防保全を実施することにより 50 年間累計で約 46 億円（92,000 千円／年）の縮減効果があるとしている。 | -56,988／-143,834 | 継続中 |
| | | ㉒立体横断施設等 | <ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に含めて策定済み エレベーター、エスカレーターは点検時に発見した不具合を時点で修繕 | — | 継続中 |

| 分類 | 方針 | 施策 | 実施状況 | 短期計画期間の効果額（千円／年） （計画時/実績折込） | 実績 |
|-------------------------------------------|----|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|
| | | ㉓大型構造物 | <ul style="list-style-type: none"> 点検は実施済み 点検結果により長寿命化修繕計画は不要とし、日常パトロールで確認する | — | 継続中 |
| | | ㉔公園緑地等 （植栽・花壇） | <ul style="list-style-type: none"> 公園樹木の間引き：令和2年度：405本 統廃合による廃止：平成31年度1か所（スポットパークこうしんどう）廃止 | 82,795/82,795 | 継続中 |
| | | ㉕公園緑地等 （遊具等） | <ul style="list-style-type: none"> 府中市公園施設長寿命化計画を策定済み 遊具の安全点検が義務化 | 10,213/0 | 継続中 |
| | | ㉖公園緑地等 （便益施設・その他施設） | <ul style="list-style-type: none"> 便益施設の集約化などの可能性を検討 | 7,871/0 | 継続中 |
| | | ㉗法定外公共物 | <ul style="list-style-type: none"> 実施済み | — | 継続中 |
| | | ㉘下水道 | <ul style="list-style-type: none"> 公共下水道ストックマネジメント計画に基づき実施 令和2年度より公営企業会計に移行 | — | 継続中 |
| 短期計画期間における効果額の合計（千円） 橋りょうの効果額（歳出）を含む場合 | | | | 47,883/33,491 | |
| 短期計画期間における効果額の合計（千円） 橋りょうの効果額（歳出）を除く場合 | | | | 104,871/177,325 | |

※ 短期計画期間の効果額は、年度ごと施策ごとに人件費を除く歳出入を集計し、4年間の効果額を平均した金額を四捨五入しています。

※ 金額欄の「—」は本計画で効果額を見込んでいない施策です。

令和3年度府中市インフラマネジメント評価等委員会

委員長 根本祐二 副委員長 金子雄一郎

委員 谷垣岳人 委員 金城琢磨

委員 土方康志 委員 池沼恵美